



MIDOSUJI / NAGAHORI / REPORT 37

発行：NPO 法人 御堂筋・長堀 21 世紀の会 / 発行人：成松孝 / 連絡先：EL06-6241-0505 / mail：npong21@hyper.con.ne.jp

御堂筋提言書「みちの賑わい創造～世界に誇るフランドストリートに～」



御堂筋フランドストリート化、実現に向けて 目標年次は2017年とする

今年度は役員改選の年。成松理事長続投で体制強化

平成 26 年度総会（5月 13 日、ネストホテル心斎橋にて開催）において、成松理事長の続投が満場一致で支持されました。総会席上、理事長は並々ならぬ決意を持って、御堂筋提言の実現を、御堂筋開通 80 周年に当たる 2017 年を目標年次とし、総力上げて取り組むと公表。そのために組織編成も大きく見直され、磐石の活動体制で、平成 26 年度がスタートしました。

成松理事長ごあいさつ

御堂筋の街づくり部会活動 第 2 ラウンドに突入

今年度の 2 大目標は「**会員拡大運動**」と「**御堂筋提言活動の進展**」です。

街づくり部会では、大阪市、大阪府、国土交通省、経済団体等の課長、部長、理事、局長及び副市長、副知事に至るまで、組織のキーマンへのプレゼンテーションは、ほぼ完了し、いよいよ、提言の実行に向けて一歩を進める段階を迎えました。

折しも、大阪市からは、当会が御堂筋の BID に認定されるために、御堂筋タウンマネージャーになってほしいと、要請されています。それには、御堂筋沿道企業の相当数の入会が必要という厳しい条件はあるものの、今、当会は、まちづくり NPO として、一歩も二歩も飛躍すべき、新しい局面を迎えています。

御堂筋は大阪の経済・文化の中心軸。我々は、御堂筋を「車の道から人の道へ」をコンセプトに、各種活性化策を提言し、その早期実現のために総力を上げて頑張ります。

平成 26 年度・役員（理事・監事）改選

執行部役員に初の女性登用

副理事長に、大島弥生さんが就任

理事長直轄の特命事項担当・常務理事職が誕生

その常務理事に、永井俊行さんが就任



今年度は下記のような役員交代を行い、副理事長に大島弥生（大島内科医院）さんが就任しました。

もう一つ、情報と人の流れを円滑にするため、特命事項を担当する常務理事職が新設され、永井俊行（グランヌーベル）さんが就任しました。

今回の役員改選の大きな特徴は、初の女性役員誕生。大島さんは、クリスマスコンサートなど、イベントプロデュースで実績を残し、2004 年から理事として活躍。今回、副理事長に抜擢されました。

「街づくりにも女性の見方や感性が求められる時代だから…と言われて、この重職をお受けしました。役員になってもならなくても、私のやることは今までと同じ。ただ、この会も、これから女性会員が増えていでしょう。その方たちがやりやすい道筋をつけていくのが、私の役目かなと思っています」と、弥生さんの就任の弁でした。



大島さん

役員交代

●理事（敬称略 あいうえお順）

再任…大島弥生、小松茂樹、白川基光、永井俊行、成松 孝、森浦 徹、山内一郎

新任…上野徳之、宇佐美修司、水口晶幹、山本 肇

退任…高瀬孝司、野村武彦、松本良洋、三喜田順彦

●監事 再任…春木洋次

退任…山本淳平（今年 1 月ご逝去）

●執行部四役

理事長…成松 孝

副理事長…森浦 徹 大島弥生

専務理事…小松茂樹

常務理事…永井俊行

今年度からスタートした専門部会二つ

■政策委員会・・・理事長直轄の政策諮問委員会



中・長期展望のまちづくり政策を考える委員会。委員長には、神戸新長田震災復興再開発や阿倍野再開発など、官民の再開発事業の企画・開発・運営に関わった、高瀬孝司（ジオ・アカマツ）さん。副委員長に、関西で大活躍のランドスケープデザイナーであり、ウェブマガジン OSOTO 編集長の忍那裕樹（E-DESIGN）さん。ここに成松理事長を加えた、最強の政策ブレーンです。（写真左・高瀬さん 右・忍那（くつな）さん）

■財務運営推進部会

今年度、新たに財務運営推進部会を新設し、部会長に常務理事・永井俊行さんが就任。その傘下に会員拡大委員会と収益事業委員会を設置。

会員拡大委員会は、タウンマネジャー組織への重責を担い、5月13日に街づくり委員会と政策委員会と合同会議を開き、御堂筋沿道企業の会社訪問の分担を決定。また5月23日には、大阪市都市計画局に依頼し、大阪市の「御堂筋活性化策」について説明会を開催するなど、躍進中です。

7月7日、清掃活動は30周年を迎えます



三十年、この人を見ない日はなし
清掃日
清掃担当の山内さん←

清掃活動が始まったのは1984年7月7日、今年で30年になります。30年間、ずっと清掃活動を支えてこられた山内一郎さん（山一化工）は、「参加してくださる会員さんあつての30年。清掃活動はボランティアの基本。これを守ることは、会の継続にもつながると思います」

伝言板

■ジョイふるへの寄付金

会員の皆様からご協力頂きました「ジョイふるの寄付金」は、総額 **¥239,000** になり、予定額を大きく上回りました。ありがとうございました。

イベント部会長 白川 基光

■りそな銀行様より駐車券ご寄付

りそな銀行様のご好意により、クリスタ長堀の駐車券（一日分）を1,000枚ご提供いただきました。早速、4月29日、ジョイふるお手伝いの方に活用して頂きました。会の活動に必要な場合は、事務局に申し出てください。



4月29日「ジョイふる」はあいにくの雨。当会はブース内に御堂筋パースを展示し、来場者に将来の御堂筋像を説明しました。

成松理事長、神戸大学・非常勤講師として 350人の学生を前に講義



6月11日（火）、成松理事長は、神戸大学経営学部トップマネジメント講座で、非常勤講師として、75分間、御堂筋のエリアマネジメントについて講義をしました。

この日、大講堂を埋めた学生は約350人。成松理事長は講義の最後に、日本の将来を背負う若い人たちに、「皆さん！みなさんが収めた学問を、単なるビジネスマネジメントにとどめず、どうか人間社会全体の幸福の実現のために実践していただきたい」と呼びかけました。